

●コア抜き状況 (約1.2倍に拡大)



●左図コアのコンクリート深部側正面の写真 (約2倍に拡大)



はじめに

ひびわれがあると、そこから雨水が入り、将来、鉄筋等が腐食して膨張することが予測されます。更に年数が経つとコンクリート表面の中性化も進み建物の構造耐力を著しく損ないます。できるだけ早期に自動式低圧注入マトロン工法で補修、補強する事が大切です。

従来、微細なひびわれへの注入は不可能でしたがこれからは自動式低圧注入「マトロン工法」が解決します。

マトロン工法は官民連帯共同研究の対象工法となり、その注入性が認められ建築改修工事共通仕様書をはじめ、リフォーム及び防水関連の書物などにひびわれ注入工法として紹介されています。

「マトロン工法」は次の特長を持ちます。

- バネ(スプリング)による低い圧力でゆるやかに注入します。ひびわれや浮きを無理に増加させない、建物に優しい工法です。
- 直接注入液を吸い上げるので取扱いが簡単です。
- シリンダーは透明性があり、注入状況が目で確認できます。
- L型ジョイント併用により狭い場所でも施工ができます。
- 低粘度エポキシ樹脂や超微粒子無機系注入剤を使用することにより深部・末端にまで注入できます。
- コンクリートを一体化し、耐久性を確保するので補強効果が高まります。

用途

コンクリート構造物やモルタルのひびわれ補修・補強
 <応用施工> 浮き補修・補強